

①基本事項

計画コード		22068		事業名		亀山7座トレイル整備・活用推進事業		
事業手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()						
施策体系	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上				予算科目	会計	01:一般会計
	基本施策	04:まちづくり観光の活性化					款	07:商工費
	施策の方向	01:地域資源を生かした観光政策の推進					項	01:商工費
	重点プロジェクト	03:「しなやか田園都市」プロジェクト					目	03:観光費
事業期間		R 1 年度 ～ R - 年度		主な根拠法令等		-		

評価分類

A1

②事業概要（P）

事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
コロナ禍において、登山やキャンプをはじめとするアウトドア等の自然観光の需要が高まる中、社会の変化に適応した観光政策として、「亀山版グリーンツーリズム」を推進し、亀山7座を中心とした自然観光による知名度向上を図っていく必要がある。	市民及びトレッキング・サイクリング愛好者	亀山7座を中心とした自然観光を推進し、本市の知名度向上を図るとともに、自然観光を通じた交流の活発化を図る。また、体験型アクティビティにより、亀山版グリーンツーリズムの展開を図る。	登山道の維持・修繕等を行うとともに、亀山7座を中心にトレッキングイベント等を開催する。また、自主運営クラブチーム等の結成支援を行い、人材育成を図る。

③事業の実施状況（P・D）

年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度			
事業計画		○トレッキングイベントの開催 ○登山道の調査、修繕、情報発信 ○自主運営クラブチーム等の結成支援 ○民間事業者等の連携体制検討		○トレッキングイベントの開催 ○登山道の調査、修繕、情報発信 ○自主運営クラブチーム等の結成支援 ○民間事業者等の連携体制検討		○トレッキングイベントの開催 ○登山道の調査、修繕、情報発信 ○自主運営クラブチーム等の結成支援 ○民間事業者等の連携体制確立		○トレッキングイベントの開催 ○登山道の調査、修繕、情報発信 ○自主運営クラブチーム等の結成支援			
活動実績 (計画通り実施できたか)		亀山7座トレイルを10回開催し、98名の参加があった。登山道の調査は、登山指導員により36回実施し、トレイルの開催前に登山ルートの安全を確認するとともに、必要に応じて枯れ木を伐採するなどの処理を行った。		亀山7座トレイルを9回開催し、118名の参加があった。登山道の調査は、登山指導員により21回実施し、トレイルの開催前に登山ルートの安全を確認するとともに、必要に応じて枯れ木を伐採するなどの処理を行った。 また、亀山7座を完登した方に完登バッジの交付を開始した。							
計画額	事業費	3,600千円		3,500千円		3,600千円		3,600千円			
		国・県支出金		0千円							
		地方債		0千円							
		その他		0千円							
		一般財源		3,600千円		3,380千円		3,600千円			
決算額	事業費	3,117千円		3,238千円							
		国・県支出金		0千円							
		地方債		0千円							
		その他		0千円							
		一般財源		3,117千円		3,238千円					
①期間内計画額(R4-7)		14,400千円		②期間外計画額(R8-)		0千円		①+②総計画額		14,400千円	

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	3,380千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	トレッキングイベントの開催	登山講演会、トレッキングイベントなどの開催数	活動	回	計画値 実績値	20 10	20 9	20	20
	亀山7座入山者数	登山ポストにおける登山届出者数の累計	成果	人	計画値 実績値	200 835	250 841	300	350
					計画値 実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	A	亀山7座を活用したトレッキングイベントは、前年度と比べると、天候不順等により開催数は減少したものの、参加者数は増加しており、人気のイベントとなっている。また、登山ルート of 安全確保に向け、定期的に登山道の調査・修繕を行ったことや、亀山7座完登者への完登バッジの交付を開始したことにより、入山者数が増加した。
十分な成果を得た		

事業の対象	事業の目的
市民及びトレッキング・サイクリング愛好者	亀山7座を中心とした自然観光を推進し、本市の知名度向上を図るとともに、自然観光を通じた交流の活発化を図る。また、体験型アクティビティにより、亀山版グリーンツーリズムの展開を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
	トレッキングイベントの参加者や入山者数は増加しているが、滞在型のイベントにはなっていないため、体験型アクティビティを提供するなど亀山版グリーンツーリズムを展開していく必要がある。また、登山道の整備については、ほぼすべてを市が行っているが、自主運営クラブチームの結成を支援して、主体的に取り組んでもらう必要がある。	

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和6年度で対応する(した)もの 引き続き、(公財)亀山市地域社会振興会と連携し、トレッキングイベントを開催することで、本市の知名度向上を図る。また、安全に登山を楽しんでもらうため、登山道の調査・修繕を継続するとともに、自主運営クラブチームの結成支援を図る。	令和7年度以降で対応するもの 亀山7座のイベントと石水溪キャンプ場での体験型アクティビティを組み合わせるなど、グリーンツーリズムの展開を図る。

【履歴】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	B	A		
事業展開	継続(拡大)	継続(現状維持)		

1次評価者	産業環境部 商工観光課 観光・地域ブランドGL 水野 英樹
最終評価者	産業環境部 商工観光課長 井上 和哉